

農業行政について



北原 裕子 議員



質問…大田原市有機農業推進協議会の今後の方向性について伺います。

答弁…大田原市有機農業推進協議会は、有機農業の健全な育成、普及、発展を通して、持続可能な地域農業の存続、発展を図ることを目的に令和6年2月に設立しました。7月には第1回の会議を開催し、国、県、市の有機農業に関する方針や有機農業

の現状と課題、オーガニックビ

レッジ宣言の概要、学校給食における有機米の導入等について意見交換を行ったところです。今後の方向性としては、10月に第2回の会議を開催する予定となっておりますが、第1回の会議で課題として挙げられた生産者、消費者双方の有機農業への理解を高めるための啓発は重要ですので、今後どのように取り組む

のか協議します。また、オーガ

ニックビレッジ宣言を行った先進自治体の事例研究を行い、その中でも普及啓発に効果の高い学校給食への有機米の導入が有機農業の推進につながるものと考えていますので、重点項目として取り上げていきます。

一般質問



齋藤 藤男 議員



道の駅那須与一の郷の農産物直売について

質問…大田原市場に集まっている野菜の全てが大田原産とは言えないとはいえ、多くは大田原市の農産物であることも事実であります。それを直売所の入り口付近に大量に陳列し、それは大田原市場から仕入れてきたものだから、大田原の農産物をアピールするという目的になっているという認識であると、道の駅には伺っています。しかし、

魅力ある道の駅に必要なのは、生産者が追加で納品している姿ですとか、直接生産者が来て、買っている人と話をしたりとか、そういう姿ではないかと思いますが、市の考えを伺います。

答弁…指定管理者も当然のことながら道の駅の目的を十分自覚して直売所運営を行っています。年間を通して様々なイベントを行い、集客に努めていると考え

ています。日ごろからお客様の目を引くわかりやすい市の農産物アピールを行っています。引き続き指定管理者、産直会、連携して市内農産物をアピールできると考えています。